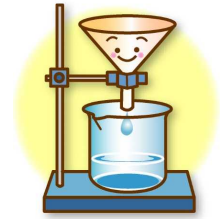


理科の勉強法



授業の受け方

- (1) 休み時間の中に学習用具を準備し、忘れ物がないようにしましょう。用具がないと学習もスムーズにできません。
- (2) ベルが鳴る1分前には着席し、ベル席と同時に始められるようにしましょう。
- (3) 教科書などを先生や他の生徒が読んでいるときは、自分も黙読しよう。
- (4) 板書は内容を確認しながらいねいにわかりやすくまとめよう。復習の時に助かります。
- (5) 観察・実験は意欲的に取り組もう。知識をより確かにし、理解を深めます。
- (6) 気づいたことや大切なことは、ノートにメモするようにしよう。

家庭学習の仕方

～「予習」よりも「復習」に力を入れよう～

- (1) 授業で習ったことは、その日のうちにノートと教科書に目を通し、理解できているかどうかチェックしよう。
- (2) 習ったところのワークブック(学習整理)の問題を解き、理解できているか確認しよう。(ワークは、担当の先生に見せよう。)
- (3) 「塵も積もれば山となる」1日たった15分でも、毎日続ける琴が大切。自分の負担にならない長さで、毎日続けられるように工夫しよう。

テスト勉強の仕方

- (1) たくさんの教科があります。計画的に勉強しよう。
- (2) まず、自分がどのくらい理解しているかを考えよう。
 - だいたい分かっていると思う人 → 問題を中心に解いていく。
 - あまり分かっていないと思う人 → まず、教科書やノートを読むことから始める。
- (3) 観察・実験を中心と下問題が出題されます。教科書にある重要な観察・実験については、内容や考えをまとめるだけでなく、目的・準備(器具名など)・実験方法なども整理しておこう。
- (4) 重要語句は、漢字で書けるようにしましょう。

受験勉強の仕方

- (1) まず、「ものはためし」です過去問(過去の県立高校の入試問題)を解いてみよう。入試問題は、1～3年の範囲がバランス良く宿題されています。もしかしたら、できる問題もあるかもしれません。探してみましょう。
- (2) 1, 2年の学習内容が70%近く出題されます。1年の時から受験を意識して学習に取り組もう。
- (3) 数種類の問題集をこなすより、1冊を完璧に分かるようになるまで何度もやろう。